

図書館 通信

豊かな時間を図書館で



画：長田 清（登別美術協会）

令和4年
(2022年)

3



月号

第490号(第40巻第11号)

【目次】

- | | |
|------------------|------------------------------|
| P1 配本所開館時間変更のご案内 | P6 職員コラム |
| P2 行事と展示のお知らせ | P7 職員のおすすめ本 |
| P3 事業・ご寄付の報告 | P8 新着図書案内 |
| P4 アーニス分館だより | P12 カレンダーのお知らせ、
図書館施設のご案内 |
| P5 市民のひろば | |

編集・発行 登別市立図書館
〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1
電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>
E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

鷺別配本所 開館時間変更のお知らせ

2022年4月1日より鷺別公民館から鷺別コミュニティセンターへの変更に伴い、鷺別配本所の開館時間が9時～18時から9時～17時半までに変更になります。

(12時15分～13時は昼休み)

また4月以降は、鷺別コミュニティセンターで夜間の貸館利用が無い場合、17時半で正面入口は施錠されます。

本の貸出・返却は鷺別コミュニティセンターの開館時間のみとなります。ご了承ください。

現行 (2022年3月以前まで)

名称 鷺別公民館
開館時間 9時～18時



変更後 (2022年4月以降)

名称 鷺別コミュニティセンター
開館時間 9時～17時半

映画会

※会場は図書館3階会議室です。
入場無料、申込は不要です。

今月は5日です！（毎月第1土曜日に開催）

こども映画会
10時30分～

「トムとジェリー」（アニメ 約40分）
◎人気のシリーズから厳選したエピソードを上映します。
※次回は「リトルモンスターシリーズ」から厳選したエピソードを上映します！

名画鑑賞会
13時30分～

「プロフェッショナル 仕事の流儀」（43分+43分）
◎NHKの人気番組から「海上保安官 寺門嘉之の仕事」、「ハイパーレスキュー隊長 宮本和敏の仕事」の2本を上映します。
※次回も同シリーズから「茶師 前田文男の仕事」「京菓子司 山口富蔵の仕事」の2作品を上映します！

おはなし会

※会場は図書館3階会議室です。
入場無料、申込は不要です。

①えほんのへやのおはなしかい（絵本や紙芝居の読み聞かせ）
日時 3月12日（土） 14時より **※毎月第2土曜日**

②おはなしぽけっと（絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど）
日時 3月26日（土） 13時30分より **※毎月第4土曜日**

イベント・講座

※どちらも会場はアーニス分館です。
分館で所蔵している雑誌が対象です。

①アーニス分館 雑誌の付録抽選会
開催期間 3月4日（金）～3月23日（水）

②アーニス分館 雑誌のリサイクル市
開催期間 3月26日（土）～4月30日（土）

※詳細は「アーニス分館だより」のページをご覧ください。



ロビー展示

※会場は図書館1階ロビーです。
どなたでもご覧頂けます。

本と雑誌のリサイクル市

開催期間 2月26日（土）～4月15日（金）
開催場所 本館1階ロビー



保存期間を終え除籍した雑誌と除籍した本を市民の方へ無償で還元します。
ご自由にお持ちください。（1日1人10冊まで）
お持ち帰り用の袋はご持参ください。

事業報告

「雑誌の付録抽選会」が終了しました

1月15日（土）から2月20日（日）の期間中開催した、図書館で所蔵している雑誌の付録を抽選でプレゼントする「雑誌の付録抽選会」が終了いたしました。

抽選結果は2月26日（土）より本館1階入口にて利用者番号を掲示しています。当選された方は希望した受取場所で利用者カードをご提示ください。

また引換期間は3月31日（木）までです。4月1日以降は当選の権利は無効となりますのでご注意ください。

沢山のご応募ありがとうございました！

総応募数 1,334 件

応募人気ランキング

1位	⑳ミニランタン&コンパクト コーヒードリッパー	126件
2位	⑯バックとシール	110件
3位	⑬保冷バッグとロールペーパー ケース	95件

郷土文化講座「日本古来の製鉄法 たたらを学ぶ」を開催しました

2月19日（土）、室蘭・登別たたら会の代表 石崎勝男さんを講師にお招きして、標記の講座を開催しました。

「たたらへの愛」とユーモアがいっぱいの内容で、地元工業の歴史などについても楽しく学ぶことができました。

2年ぶりの開催となった今回も多くのご参加を頂き、あっという間の120分でした。



ご寄付の報告

2月8日（火）、登別ライオンズクラブ様から図書購入費のご寄附を頂きました。

同クラブ様からは昭和44年より継続的にご寄附を賜っており、これまで1,700冊を超える図書を購入させて頂きました。

今回もご厚志に沿った資料の選定を進めて参ります。

皆様から賜りましたご篤志に改めて御礼申し上げます。

どうもありがとうございました。



アーニス分館だより

アーニス分館では

- ◆ 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- ◆ 「国立国会図書館デジタルコレクション」
「歴史的音源」を利用できます。
- ◆ オンライン・データベースを利用できます。
- ◆ DVDを視聴できます。
- ◆ 見やすい大活字本もあります。
- ◆ 雑誌の最新号の一夜貸しを行っています。
- ◆ 新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報を
ご覧いただけます。



【 イベント 報告 】

『折り紙で箱をつくろう』

1月8日(土)13時より、アーニス分館閲覧室にて開催いたしました。身近な包装紙や工作用の折り紙などで簡単に箱を作ろうというものです。たまたまこちらに遊びに来ていた親子連れの方に早速お声を掛けて、参加して頂きました。

まだまだ不慣れで、たくさんの反省点もありましたが、これからも手作りのアーニス分館ならではの企画をお届けいたします。皆様のご参加をスタッフ一同心よりお待ちしております。

第2回「デジタル分館おはなし会」

1月22日(土)13時より、アーニス分館閲覧室にて開催し、9名の方にご参加頂きました。これから毎月第1週の土曜日13時からの予定です。3月は26日(土)13時から！



アーニス分館

《雑誌の付録抽選会・雑誌のリサイクル市のお知らせ》

※雑誌の付録抽選会※

応募期間中、貸出利用の際にお渡しする応募用紙（貸出1回につき1枚）に必要事項を記入の上、ご応募ください。

応募期間 **3月4日(金)～3月23日(水)**

当選発表 **4月1日(金)**

アーニス分館にて利用者番号を掲示します。

引換期間 **4月1日(金)～4月30日(土)まで**

※雑誌のリサイクル市※

3月26日(土)～4月30日(土)

アーニス分館の

雑誌の付録抽選会

アーニス分館で所蔵している雑誌の付録を利用者へ差し上げます。

雑誌のリサイクル市

アーニス分館所蔵の雑誌の中から保存期間の過ぎたものをご用意しています。どうぞ自由にお持ち帰りください。

児童書の世界

子どもの頃は、50代の方が自分よりも遥かに長い時間を生きている、たいへん経験豊富な人に見えました。しかし自分がその年代に突入しても、経験豊富で立派な人間になった実感はありません。趣味、思考、性格等どれをとっても10代、あるいは一桁の時代に馴染んだものを抱えたまま日常を積み重ね、気が付いたらこの年代に突入していたという感じがします。体は50代となっても心の奥底は10代の少年、と言ったところです。

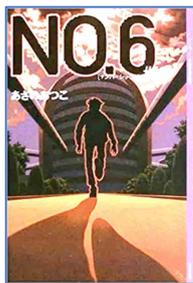
この少年の心が覚醒するのでしょうか、登別市立図書館へ行った際に、最も時間をかけて閲覧するのは児童書です。図書館を訪ねる度に、今回はどの本を借りようかと何冊も手に取って見比べます。そのために一度図書館に入館すると、つい長居をします。

市立図書館で12年ほど前に何気なく手に取った、あさのあつこさんの小説『NO.6』を全巻夢中で読んで以来、ほぼ年中、児童書を借りて読んでいます。児童書を読むと、心の奥底に残る少年時代の自分が、登場人物と共に旅や冒険をしているような感覚になります。私は日常生活から少し不思議な世界へ足を踏み入れたような、児童書の世界が大好きです。

今の小学生はインターネットの動画を見ることが大好きですが、同時に読書にも高い関心を持っています。勤務校の児童も、図書室に新しい本が入ると興味深げに手に取り、図書委員の児童は画用紙にイラストや文章を書いて、それぞれのお勧めの図書を紹介しています。私が児童に、市立図書館で借りて読んだ『若おかみは小学生』や『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』などの話をすると「あっ、知っている」という反応が返ってきて会話が弾みます。

児童書以外では、新聞各紙を閲覧できるのは有難いことです。例えば日本ハムファイターズの試合結果の記事内容が道内紙と全国紙で異なるように、同じ出来事でも新聞社によって視点や論点が異なるのは興味深く、社会情勢を考える上で、たいへん参考になります。

これからも市立図書館の図書を通して、日常から少し足を踏み出した世界を体験したいと思います。

あさのあつこ著
講談社発行廣嶋 玲子作
偕成社発行令丈 ヒロ子作
講談社発行

《コロナ禍の片付け》

コロナ禍がいつ終わるともしれない状況が続いている。その中、自宅にこもりっきりという訳ではないが、外出する前に出かける必要があるのかないのか考え込む日々も続いている。以前（令和2年9月号）にこのコラムで片付けのことを書いたことがある。それからしばらく経ったが、ようやく自宅の中が片付いてきた雰囲気が出てきた。前にも書いたとおりなので内容は省くが捨てるルールを並べてみていろいろ試してみても、結局、断捨離がうまくいった様に思う。正確に言えば、断捨離は片づけることではなく、片づける余地がないほど捨てるということを意味するもので、もう少し話を変えると無心に捨てるということになる。

新型コロナウイルスで対面の授業ができない各大学の対策として、いままで大学に直接行かなければ受講ができなかった講座を、各大学の教室からインターネットを通じて開講する様になってきた。それで、何気なく Web から検索して選んだ大学の公開講座の一覧の中から、パンフレットを取り寄せて開いてみると断捨離の講座を見つけた。早速、インターネット上で受講の申し込みをして、後日 Web カメラを購入し、インターネットでビデオ通話ができる最近はやりの会議アプリの ZOOM をインストールした。同じように片付けに困っている参加者と一緒に講座に参加した。操作がぶっつけ本番で講師に教えてもらいながらの講座を始めたのだが、要点を一つ、かいつまんで言うと断捨離の基準は、「今」なのだそうだ。将来使うかも？という考えは一切、頭の中からなくして「今」使うかどうか、それを見て今とつなげられることがポイントだそうだ。つまり今の視点を動かさないことが重要ということになる。こう書くと難しく感じるかもしれないが、登別市立図書館にも断捨離について書かれた蔵書があるので、興味がある方は一読を勧める。

今年も昨年に引き続き断捨離をしている。今度は自分の断捨離ではなく、一昨年に母親、昨年に父親を亡くしたので、住んでいたその家の後片付けが加わることになった。自分一人でやっている訳ではなく、兄夫婦とあれこれ、わいわいと話をしながらやっている。

母親と父親が亡くなるその間に自分が長年取り組んできた、説明はしないが、散らかりの原因の一つの通信制大学での学びを10年以上かけて終えることができ、ようやく卒業に至った。ほっとする反面、何をするかしないか、これから先のことを考えている。この断捨離もその一つとして出てきたものだ。通信制大学を卒業してこの一年、他の大学の公開講座を受講してみてその参考図書を読んだり、新聞に載っていた本の紹介を読んで購入したりしていた。そして通信制大学で学んでいた間、専攻に偏った本を多く読んでいた分、考え方もそちらの方に偏りがちになっていたが、今は自由にジャンルにとらわれず本を読んでいる。読む本にバランスをとろうと思う反面、これから読む本は将来に係わることで何がしたい、どう生きて行きたいということを示唆する本になると思っている。

今はいろいろなものを捨てながら、いろいろ自分の先行きのことを形づくっていきたいと思っている。その中でも自分の生きてきたなかで、身についたものはなかなかとれそうにないと考えているので、それを捨てるには苦労していくと思う。

何を捨てて残すかというこの作業は、しばらくは続けていくことになりそうだ。



「死体が教えてくれたこと」

上野 正彦著／河出書房新社発行



今ではテレビドラマなどでも題材とされる法医学という分野の知名度を高め著書を何冊も執筆されている筆者が、14歳に向けて死とは何か生きるとは何かを語りかけ、死者を診る仕事を通じて命の大切さを説いています。

解剖をして死因を調べて亡くなった原因を特定するという仕事を判りやすい言葉で語る中、監察医が仕事をするということは事故や事件で不慮の死を遂げた方がいるということ、切ない理由で亡くなった方がいるということだから、仕事を誇りに思いながらも監察医という仕事が必要のない世の中になれば嬉しいと筆者は綴っています。

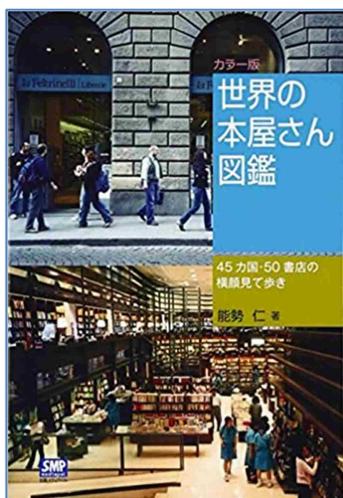
者は綴っています。

死にたいという言葉は生きたいというメッセージが込められているからこそ、誰かが気付き救ってあげてほしいと、ご自身の人生を振り返りながら伝えています。

電子書籍紹介

「世界の本屋さん図鑑」

能勢 仁著／メディアパル発行
電子書籍（フィックス）



海外45の国で50の書店を紹介しており、おうちに居ながらも世界の書屋さんの雰囲気カラー写真を味わってしまいます。

図書館で働いていてたくさん本に囲まれているというのに、いまだに書屋さんに行くのが大好きな自分にとっては眺めているだけでワクワクしてしまう一冊になります。

世界の書屋さんの店内は日本の書屋さんとは違った雰囲気があり、色彩が豊かであったり棚が大きく高かったり、見ているといつかは行ってみたいくなる本当に楽しい景色が広がっています。



新着図書案内 令和4年3月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
0 総記		明治日本はアメリカから何を学んだのか	小川原 正道
図書館利用に障害のある人々へのサービス 上・下巻	日本図書館協会 障害者サービス委員会	● 現代語訳暗黒日記 昭和十七年十二月～昭和二十年五月	清沢 洌
一万円選書	岩田 徹	一冊でわかる韓国史	六反田 豊監修
ガーファネクストステージ 四騎士+Xの次なる支配戦略	スコット・ギャロウェイ	スパルタを夢見た第三帝国	曾田 長人
● 米澤屋書店	米澤 穂信	図説ソ連の歴史 増補改訂版	下斗米 伸夫
1 哲学・宗教		3 政治・経済・社会・教育	
心が揺れがちな時代に 「私は私」で生きるには	高尾 美穂	タリバンの眼	佐藤 和孝
自分を変えたい	宮武 久佳	● 裏道を行け	橘 玲
中村天風 運命を拓く×心を磨く	松本 幸夫	● ヒトの壁	養老 孟司
● 折れない心をつくるいい言葉	斎藤 茂太	PERIL危機	ボブ・ウッドワード/ ロバート・コスタ
なぜ日本人は怒りやすくなったのか？	安藤 俊介	選挙活動、ビラ配りからやってみた。	和田 静香
なぜ私は怒れないのだろう		チベット侵略 中国共産党100の残虐行為	チベット亡命政権 ジュネーブ支局
2 歴史・地理		叱らない、ほめない、命じない。	岸見 一郎
● もし幕末に広報がいたら	鈴木 正義	金融サービスの未来	新保 恵志
縄文vs. 弥生 先史時代を九つの視点で比較する	設楽 博己	ジェイソン流お金の増やし方	厚切りジェイソン
大坂城 秀吉から現代まで50の秘話	北川 央	ゴーイング・ダーク	ユリア・エブナー
風刺画が描いたJAPAN	若林 悠	「人それぞれ」がさみしい	石田 光規
北海道続縄文文化の変容と展開	鈴木 信	社会保険労務士になるには	池田 直子
北海道の縄文文化こころと暮らし	「北海道の縄文文化 こころと暮らし」刊行会	女性の職業のすべて 2023年版	女性の職業研究会
江戸前の海の物語	河野 博	● 自分がおじいさんになるということ	勢古 浩爾
江戸 平安時代から家康の建設へ	齋藤 慎一	絶縁家族終焉のとき	橘 さつき
横浜中華街	山下 清海	父がひとりで死んでいた	如月 サラ
ヨーロッパ史入門 原形から近代への胎動	池上 俊一	● コロナ禍のアメリカに行く	デール・マハリッジ
戦争の文化 上・下 パールハーバー・ヒロシマ・9.11・イラク	ジョン・W. ダワー	インド残酷物語	池亀 彩
人間晩年図巻 2008-11年3月11日	関川 夏央	サウジアラビア 「イスラーム世界の盟主」の正体	高尾 賢一郎
日本史人物〈あの時、何歳？〉事典	吉川弘文館編集部	東京ルポルタージュ	石戸 諭
シュリーマン トロイア発掘者の生涯	エーミール・ ルートヴィヒ	老人支配国家日本の危機	エマニュエル・トッド
史伝北条義時	山本 みなみ	● 日曜の言葉たち	福島 申二
家政婦は見た！ 紀州のドン・ファンと妻と七人のパパ活女子	木下 純代	孤独の宰相	柳沢 高志
ハルモニ、歌ってあげるね アイヌ、コリアンと共に生きる	安藤 清史	アイヌ民族の現在、過去と未来！	平山 裕人
人類の歴史をつくった17の大発見	コーディー・ キャンディー	暴く者暴かれるモノ	吉田 公一
ヤマトタケル巫覡(かんなぎ)の王	戸矢 学	全国に30万ある「自治会」って何だ！	小田 光雄 中村 文孝
入門日本書紀事典	瀧音 能之監修	国造 大和政権と地方豪族	篠川 賢

新 着 図 書 案 内 令和4年3月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
● アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か？	カトリーン・マルサル	化粧品成分事典	久光 一誠監修
グローバリゼーション	伊豫谷 登士翁	● 栗原家のごはん	栗原 心平
● 職場のトリセツ	黒川 伊保子	武相荘、おしゃれ語り	牧山 桂子
● CBDC中央銀行デジタル通貨の衝撃	野口 悠紀雄	野口光が教える一生使えるダーニング術	野口 光
反目する日本人と韓国人	呉 善花	ミシンスターBOOK	日本ヴォーグ社
人は聞き方が9割	永松 茂久	一生使い続けたい！ ハンドメイドの基礎&応用BOOK	主婦と生活社
「話し方のベストセラー100冊」 のポイントを一冊にまとめてみた。	藤吉 豊 小川 真理子	超初心者でも作れる！ きほんの通園通学グッズ	ブティック社
4 自然科学・医学		ペーパーフラワーの時間	堀込 好子
ビーカーくんがゆく！ 工場・博物館・実験施設	うえたに夫婦	● 少ないもので料理する	ドミニック・ローホー
知られざる水の化学	齋藤 勝裕	á table SHIMA vol. 01	タサン志麻
地球外生命	小林 憲正	ジオラマテクニックバイブル	瀬川 たかし
地球の中身	廣瀬 敬	SDGsな生活のヒント	タラ・シャイン
60分でわかる！ カーボンニュートラル超入門	前田 雄大	トコトンやさしい消臭・脱臭の本	光田 恵
生命を守るしくみオートファジー	吉森 保	はじめて学ぶ環境倫理	吉永 明弘
昆虫飛形図鑑	三橋 淳	英国建築の解剖図鑑	マシュー・ライス
ゾウが教えてくれたこと	入江 尚子	トコトンやさしい環境発電の本	山崎 耕造
ぜんぶわかる高齢者のからだと病気	秋下 雅弘監修	ロボットと人間	石黒 浩
mRNAワクチンの衝撃	ジョー・ミラーほか	視覚化する味覚	久野 愛
教えて、北海道のがん	高橋 将人	レゴ 競争にも模倣にも負けない世界一 ブランドの育て方	蛸谷 敏
ぼくとがんの7年	松永 正訓	はじめてのガラスペン	武田 健
未来の科学者たちへ	大隅 良典 永田 和宏	ぶらり、世界の家事探訪	阿部 絢子
数理の窓から世界を読みとく	初田 哲男 柴藤 亮介	暮らしが変わる時短家事 ヨーロッパ編	かおり
世界は「e」できている	金 重明	大人のお金の遣い方	佐々木 重徳
マルチメッセンジャー天文学が 捉えた新しい宇宙の姿	田中 雅臣	お金の増やし方	西山 美紀
南極の氷に何が起きているか	杉山 慎	稼働率100%クローゼットの作り方	小山田 早織
日本のサンショウウオ	川添 宣広	ミトン屋さんの手編みのミトンとこもの	ブティック社
● ドードーをめぐる堂々めぐり 正保四年に消えた絶滅鳥を追って	川端 裕人	みんなのおそろいニット帽	日本文芸社
● クジラのおなかに入ったら	松田 純佳	ぽんぽんでかわいい四季のどうぶつたち	伊藤 和子
食べるなら、どっち！？ 令和版	渡辺 雄二	● 干し芋の丸かじり	東海林 さだお
5 技術・工業・家事		● キッチンから始める人生の整理術	村上 祥子
エシカル革命	末吉 里花	6 産業・商業	
2050年の地球を予測する	伊勢 武史	食べものが足りない！	井出 留美
たたら製鉄から再考する近代科学	黒滝 哲哉	豆くう人々 世界の豆探訪記	長谷川 清美

新 着 図 書 案 内 令和4年3月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
6 産業・商業		913 日本の小説	
● 花と短歌でめぐる二十四節気花のこよみ	俵 万智	約束	葉室 麟
人、イヌと暮らす	長谷川 眞理子	● 偽装同盟	佐々木 譲
野生動物の法獣医学	浅川 満彦	遺言歌	なかにし 礼
● 船の食事の歴史物語	サイモン・ スポルディング	丘の上の賢人 旅屋おかえり	原田 マハ
● 鉄道の食事の歴史物語	ジェリ・クインジオ	仁王の本願	赤神 諒
北海道の業界地図 2022-23	北海道新聞社	黒白の一族	明野 照葉
サステナブル・フード革命	アマンダ・リトル	● ひとりでカラカサさしてゆく	江國 香織
食べる経済学	下川 哲	血の歌	なかにし 礼
7 芸術・スポーツ		世界の美しさを思い知れ	額賀 滯
● 絵の中のモノ語り	中野 京子	● きりきり舞いのさようなら	諸田 玲子
大人の雑学西洋画家事典	らち まゆみ	マザー・マダー	矢樹 純
世界を変えた100のポスター 上・下	コリン・ソルター	● ミトンとふびん	吉本 ばなな
大谷翔平勇気をくれるメッセージ80	児玉 光雄	饗宴	赤松 利市
マステで素敵にアレンジ 楽しいギフトと飾りつけ	森 珠美	石原慎太郎短編全集 1・2	石原 慎太郎
音楽はお好きですか？ 続	藤岡 幸夫	● おわかれはモーツァルト	中山 七里
犬は歌わないけれど	水野 良樹	● 皆のあらばしり	乗代 雄介
もういいかいまあだだよ	小椋 佳	捜査線上の夕映え	有栖川 有栖
● 銀座で逢ったひと	関 容子	創世の日	江上 剛
みんな、本当はおひとりさま	久本 雅美	● もう別れてもいいですか	垣谷 美雨
人生70点主義 自分をゆるす生き方	梅沢 富美男	ミーツ・ザ・ワールド	金原 ひとみ
いまだから語りたい 昭和の落語家楽屋話	三遊亭 好楽	教育	遠野 遥
日本の仏像図鑑	宮下 真	● ミス・サンシャイン	吉田 修一
今すぐ使えるかんたんYouTube 動画編集入門	入江 祐也	特許やぶりの女王 弁理士・大鳳未来	南原 詠
木村伊兵衛写真に生きる	木村 伊兵衛	男の愛 たびだちの詩	町田 康
柚木沙弥郎 つくること、生きること	平凡社	花人始末 2 菊香の夢	和田 はつ子
木のもの	暮らしの図鑑編集部	真夜中のマリオネット	知念 実希人
カミキィの(気持ちが伝わる) 贈り物おりがみ	カミキィ	異変ありや(空也十番勝負6)	佐伯 泰英
8 言語		● 赤と青とエスキース	青山 美智子
うつりゆく日本語をよむ	今野 真二	剛心	木内 昇
日本語教師になるには	益田 美樹	● 中野のお父さんの快刀乱麻	北村 薫
武器になる話し方	安田 正	警官の道	呉 勝浩ほか
● 日本語はこわくない	飯間 浩明	● 残照の頂 山女日記 続	湊 かなえ

新 着 図 書 案 内 令和4年3月 No.4

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
北斗の邦へ翔べ	谷津 矢車	ビザール学園	前川 裕
犬神家の戸籍	遠藤 正敬	● 彼女が最後に見たものは	まさき としか
● 同志少女よ、敵を撃て	逢坂 冬馬	鴨川ランナー	グレゴリー・ケズナジャット
● 底惚れ	青山 文平	ミニシアターの六人	小野寺 史宜
蚕の王	安東 能明	おはようおかえり	近藤 史恵
● 神曲	川村 元気	君の名前の横顔	河野 裕
● 熔果	黒川 博行	メディコ・ペンナ 万年筆よろず相談	蓮見 恭子
濁り水	日明 恩	ほんのこども	町屋 良平
現代生活独習ノート	津村 記久子	特急リバティ会津111号のアリバイ	西村 京太郎
驟雨	吉行 淳之介	9 その他の文学	
ひとり旅日和 3	秋川 滝美	時代小説の戦後史	縄田 一男
薔薇色の門 誘惑	遠藤 周作	企業と経済を読み解く小説50	佐高 信
● 吾妻おもかげ	梶 よう子	シルバービュー荘にて	ジョン・ル・カレ
パパラレレル	最果 タヒ	源氏物語解剖図鑑	佐藤 晃子
かすてぼうろ 越前台所衆於くらの覚書	武川 佑	歴史探偵開戦から終戦まで	半藤 一利
探偵少女アリサの事件簿 3 さらば南武線	東川 篤哉	● 吉祥寺ドリーミン	山田 詠美
教え子殺し 倉西美波最後の事件	愛川 晶	もういちど、あなたと食べたい	筒井 ともみ
札幌トライアングル	木村 花道	今を生きるあなたへ	瀬戸内 寂聴
ジミー・ハウードのジッポー	柴田 哲孝	掠れうる星たちの実験	乗代 雄介
● 不村家奇譚 ある憑きもの一族の年代記	彩藤 アザミ	一期一会の人びと	五木 寛之
その花の名を知らず	長野 まゆみ	● 幸田文 老いの身じたく	幸田 文
花のなごり 奈良奉行・川路聖謨	出久根 達郎	モヤモヤするけどスッキリ暮らす	岸本 葉子
birth	山家 望	忘却の野に春を想う	姜 信子 山内 明美
● 夜半獣	花村 萬月	誰よりも、うまく書く	ウィリアム・ジンサー
博多さっばそうらん記	三崎 亜記	歓待する文学	小野 正嗣
またあおう しゃばけ外伝	畠中 恵	怖い家	エドガー・アラン・ポーほか
女性失格	小手鞠 るい	東京マッハ	千野 帽子ほか
アスベストス	佐伯 一麦	次の角を曲がったら話そう	伊集院 光監修
● 人形姫	山本 幸久	● 遠慮深いうたた寝	小川 洋子
ミス・パーフェクトが行く!	横関 大	私たち、まだ人生を1回も 生き切っていないのに	小林 エリコ
生を祝う	李 琴峰	● 哲学の蠅	吉村 萬壺
アウレリャーノがやってくる	高橋 文樹	肩書のない人生	渡辺 京二
● 全裸刑事(デカ)チャーリー	七尾 与史	ヘイケイ日記	花房 観音

コロナ禍のため貸出冊数を無制限とします

通常貸出冊数制限10冊のところ、下記の期間中は貸出冊数を無制限といたします。
冊数の制限はありませんが、貸出期間の2週間でお読みになれる範囲内でご利用ください。

実施期間 令和4年2月1日（火）～8月31日（水）

実施施設 登別市立図書館 全館

（本館・アーニス分館・移動図書館車こぐま号・鷺別配本所
・登別配本所）

図書館カレンダー 令和4年(2022年) 3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 分館休館	4 アーニス分館 付録抽選会 開始(~3/23)	5 映画会
6	7 本館休館	8	9 ブックスタート	10 分館休館	11	12 えほんのへやの おはなし会
13	14 本館休館	15	16	17 分館休館	18	19
20	21 春分の日 本館休館	22 祝日振替 本館休館	23	24 分館休館	25 図書整理日 本館休館 分館休館	26 分館リサイクル市 開始(~4/30) デジタルおはなし会 おはなしほけっと
27	28 本館休館	29	30 ライブラリー スタート おはなし会	31 分館休館		

図書館施設案内

	本館	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	こぐま号
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	中央町5-21-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	85-4324
休館日	月曜・祝日・年末年始 毎月最終金曜	木曜・年末年始 毎月最終金曜	年末年始のみ		日曜・月曜 祝日・年末年始
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~18:00 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	巡回表のとおり